

教員名	元岡 展久 (MOTOOKA, Nobuhisa)
所 属	生活科学部人間・環境科学科人間・環境科学講座
学 位	博士 (工学)
職 名	助教授
URL / E-mail	<a href="http://www.eng.ocha.ac.jp/architecture/motookastudio/index.html">http://www.eng.ocha.ac.jp/architecture/motookastudio/index.html</a> / motooka.nobuhisa@ocha.ac.jp

## ◆研究キーワード

18世紀建築史 / フランス建築史 / 建築教育 / 形態論 / デッサン

## ◆主要業績

総数 ( 3 ) 件

- ・住宅設計作品『TOYOTA Home』, 元岡展久設計, 愛知県豊田市, 2005年8月竣工. 作品発表  
『住宅を読み解く 08』, 「建築ジャーナル No1104」内所収, 建築ジャーナル, 2006.06, pp60-62.
- ・アーキテクテク編集委員会 (事務局: 元岡展久他 5名) 編著『東海の現代建築ガイド・アーキテクテク』, 建築ジャーナル, 2006.04, 132p.
- ・元岡展久, 山口恵子「テレビドラマの居間と家族」, 『生活工学研究第9巻1号』, 2007.2, pp128-131.

## ◆研究内容

「建築設計」に関する理論, 手法, 教育について, 18世紀フランス建築を中心に研究をおこなっている。建築家が設計する際に描く様々な図面を分析し, これらと実際に建てられた建築物や, 出版された理論等と比較することで, 設計過程において空間を「描く」行為の意味を分析している。こうした「建築設計」についての研究成果を, 教育に反映させると同時に, 実際の建築物の設計においても実践している。具体的な設計では, 豊田市に住宅を, また名古屋市の「テンセグリティ構造」を利用した小さなギャラリーを計画した。

## ◆教育内容

学部教育: 建築分野の学問は多岐にわたる。したがって建築に関する教育は, 自らの研究分野のみならず, 幅広い分野での講義ならびに実習が必要となる。本学科カリキュラムにおける「居住環境学」「建築物理学」などの建築学関連授業では, 幅広い領域をカバーするよう, 建築構造, 計画, 環境, 意匠の体系にそった講義をおこなった。「住居学概論」では, 図面製図, 住まい方調査などの実習を取り入れた授業をおこなった。また, 人間・環境科学実験実習では, 大手ゼネコンの技術研究所の協力のもとに, 構造材料実験の内容を整備した。

卒論指導: 3名の学生の卒業論文指導をおこなった。それぞれ, 「お茶の水女子大学キャンパスの変遷と計画に関する研究」「家族とキッチン—使用状況と意識に関する研究」「トップライトの間接光による空間演出について」というテーマで論文を指導した。

## ◆Research Pursuits

---

Theories and design techniques on architecture in 18th and 19th centuries' Europe are my current research themes. By comparing architectural theories and educational systems with concrete building works of these periods, I analyze the significance of "drawing" in the creation process of architecture.

At the same time, based on the result of these studies, I practice design skills in proper building construction. Last year, a house in Toyota has been realized and a small gallery and cafe' building is now under planning in Nagoya.

## ◆Educational Pursuits

---

### UNDERGRADUATE EDUCATION

For architectural education includes a large field of studies, lectures and practices of a wide domain are necessary. In the class of "Introduction to Housing", basic architectural and urban problems are lectured, including design practices. In the other 3 lecture courses on architecture that I had in 2006, I concentrated mainly on the categories below: architectural structure, planning, environmental engineering, and architectural design.

### GRADUATION THESIS

Three students conducted their researches under my direction. Their thesis' titles are: "Study on Indirect Lighting from Top Lighting - An analysis based on Model Simulation", "Study on relations between kitchens and families" and "Study on the Development of the Campus Planning of Ochanomizu University".

## ◆共同研究例

---

テンセグリティ構造の生体工学デザインへの応用に関する研究

## ◆共同研究可能テーマ

---

- ・木造建築の構法開発（古材，間伐材を利用した住宅建設技術）
- ・都市小住宅の建設技術と空間の変容に関する研究
- ・子供の「住育」の国際比較，ならびに教材開発

## ◆将来の研究計画・研究の展望

---

「建築設計」に関する理論，手法，教育についての研究は，いわば人々が建築をどのようにとらえ，何をもとに設計していたかという点を明らかにすることである。

1) 「建築家のデッサンと実作品に現れた形態との比較分析」では，建築家が空間を創造する際の思考を分析する。2) 建築を専門にしない市民や子供たちを対象とした「住育」に関する国際比較調査から，「住育」教材開発を試みる。3) 近代の都市小住宅空間についての研究をおこない，その研究成果から具体的な住宅設計を実践し，社会への関わりを積極的に進める。

## ◆受験生等へのメッセージ

---

元岡研究室は，建築や都市の空間のデザインを専門とする研究室です。美しい空間とはどういう空間なのでしょう。建築にあらわれた「かたち」は，どんな意味を持っているのでしょうか。建築を設計する際に，何をどのように考え，どのようにデザインしていくべきなのでしょう。過去の建築から現代の建築にいたるまで，様々な作品を対象に実例を分析し，作品にある美の根拠を探っていきます。巨匠建築家の作品についても分析し，具体的な作品にあらわれた「かたち」から，その設計の思想や設計の手法を考察していきます。こうした研究の成果を，自らの建築やインテリアの設計へとつなげ，建築デザインへと実践することも目指しています。